土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　平成30年度 二級河川 瀬野川水系 三谷川 通常砂防事業に伴う業務委託

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　砂防 砂防

ボーリング名	B-3-No.4	**調査位置**	広島県安芸郡熊野町初神地内（三谷川激特堰堤）			**北緯**	34° 21′ 59.1118″
発注機関	広島県西部建設事務所			**調査期間**	2021年 7月 5日 ～ 2021年 7月 5日	**東経**	132° 35′ 25.0810″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**	**ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. 293.83m	**角度**	180° 上 90° 下 0° 0°	**方位**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90° 32°
総削孔長	8.00m	**使用機種**	**試錐機**	東邦地下工業 D1-C48	**エンジン**	ヤンマー NFD-12	**ポンプ** 東邦地下工機 BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
1	292.33	1.50		礫混じり砂		褐 淡黄褐	rd4		新生代第四紀	0.4m付近までは土壌化が進み，細粒分が多い。植物根を混入する。 以深，二次マサ堆積物。礫分は細礫～中礫で，最大でもφ10mm程度である。砂分は粗中砂からなり，全体に細粒分を伴っている。試料の含水は低い。	
2 3 4	288.93	4.90		玉石混じり砂礫		淡黄褐	rd3			コア長4～最大25cmの玉石分を混入する。 全般的に岩片は風化しており，新鮮な玉石分は少ない。 マトリクスは粘土混じりの中粗砂からなり，貫入試料を指圧で崩すには少し強い力を要する。 貫入試料の含水は低く，少し湿った程度である。 孔内水位は掘削終了翌日の観測値である。 基盤岩との境は明瞭であり，高角度に接している。	67.06 4.41
5	288.48	5.35		強風化花崗岩		黄灰			中生代白亜紀	花崗岩の強風化部（軟岩I）。強い風化色を伴う。半固結状コアを呈し，指圧により粗砂～細礫状にほぐせる。DH級。	
6 7	285.83	8.00		強風化花崗岩		白灰				花崗岩の風化部（軟岩I）。やや急激に風化が弱まる。コアは10～15cmの短柱状を主体とし，所々，幅10cm程度以下で礫状と化している。岩片も風化しており，コア肌は粗く，脆い印象がある。割れ目も鋭い形状ではない。CL級。	
8 9											

標準貫入試験

深度－N値図（0 10 20 30 40 50）

N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
33	1.15	9	10	14	33/300		
	1.45						
23	2.25	4	9	10	23/300		
	2.55						
25	3.15	5	10	10	25/300		
	3.45						
14	4.15	4	3	7	14/300		
	4.45						
100	5.15	26	24/50		50/150	150	
	5.30						
167	6.00	50/90			50/90	90	
	6.09						
1500	7.00	50/10			50/10	10	
	7.01						
	8.00	貫入不能			50/0		
	8.00						

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
					7/5